

## 予選方法

### ブロック大会

ア 主管協会は、公開競技実施日及び締切日を考慮して、ブロック内の協会理事長と協議して開催期日、場所を決めること。

イ 本大会への参加標準記録は設定しない。ブロック毎の選手選考に際しては、成年男子は階級毎に1位の選手の中から、フォーミュラ記録の大きい選手から順に下記のブロック毎の枠数に達するまで選考するものとし、1位の選手で充足しない場合は、同様に2位の選手から選考することができる。更に充足しない場合は3位以下の選手から順次同様にして選考することができる。成年女子は各階級の上位から交互に選考し、同順位についてはフォーミュラ記録の大きい選手を下記のブロック毎の枠数に達するまで選考する。例えば、1名枠の場合、全階級で最もフォーミュラ係数の大きい選手を、2名枠の場合は軽量級と重量級の各1位の選手を、3名枠の場合はそれぞれの階級で1名選考し、3名目はどちらかの階級のフォーミュラ係数の大きい選手を選考する。

ウ 開催地の都道府県はブロック大会を免除する。ただし、開催地都道府県の判断でブロック大会に出場できることとし、その場合はブロック大会で選考された選手に、都道府県大会に参加した選手であることを条件に、開催地枠の人数を加えた選手の参加を認める。

エ ブロック大会の結果成績及びブロック代表選手の選考結果は、ブロック長が大会終了後1週間以内にJPA本部あてに提出すること。

オ ブロック大会の区分及びブロック毎の代表選手枠数は、次のとおりとする。

	都 道 府 県	監 督	種 別		合 計
			成年男子	成年女子	
北海道	北海道	1	8	1	10
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	6	7	1	14
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	8	52	7	67
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	5	11	1	17
東海	静岡、愛知、岐阜	3	18	2	23
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	6	19	3	28
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	5	5	1	11
四国	香川、徳島、愛媛、高知	4	4	1	9
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	8	10	1	19
開催県	三重	1	6	2	9
合 計		47	140	20	207